



リン回収施設が稼働

岐阜市

「岐阜モデル」を擁し 世界へ飛躍



リン回収施設全景

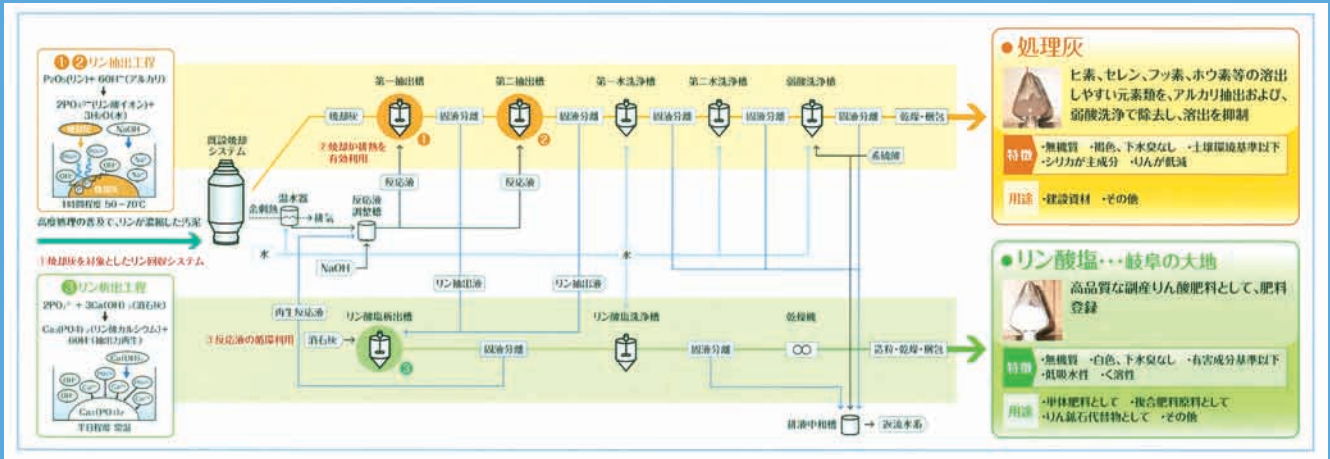
「岐阜モデル」として確立した下水汚泥からのリン回収技術を世界へ…。

岐阜市上下水道事業部の北部プラント内に完成したリン回収施設が脚光を浴びています。

水質の富栄養化の原因のひとつである「リン」は、下水の高度処理によって除去されて処理・処分されますが、その一方で肥料の三大要素として植物の生育に必要な不可欠なものです。日本では全量輸入に頼っており、さらに世界でも資源の枯渇が懸念されています。

そのような中、岐阜市では年間約1000 t 発生する下水汚泥焼却灰から灰アルカリ抽出法により「リン」を回収、日本で初めて肥料として製造する施設を建設しました。同市ではハイカラレンガ（焼成レンガ）に代わる新たな汚泥焼却灰有効利用施設として、平成15年度から民間企業と「リン回収技術」の共同研究を開始。平成18年度のSPIRIT21を経て、平成20年度から2カ年でリン回収施設を完成させました。

フローとしては、汚泥を焼却し、減量した灰からリ



下水汚泥焼却灰リン回収システムとフロー図



岐阜の大地 白色で無臭

リン酸を取り出し、カルシウム（消石灰）と結合。洗浄・濃縮・乾燥・造粒の工程を経て、植物への効き目が緩やかなリン酸カルシウム肥料「岐阜の大地」として生まれ変わります。さらに処理灰は建設資材として販売、有効利用を図っています。

リンは自然界からの回収が難しい資源のひとつですが、下水汚泥からのリンの回収は、技術力の向上によって確実なものとなってきました。岐阜市では今後、この「岐阜の大地」を周辺市町村で使用してもらうことにより、多くの人にその良さを理解していただき、さらなる利用地域の拡大を目指しています。

同施設は国内だけでなく中国や韓国、ドイツ、ブラジルといった海外からの視察もあり、世界的に注目を集めています。下水道に対してこれまでの生活環境の改善、水質汚濁の防止といった役割に加え、地球温暖

＜ 溶性りん酸肥料 ＞

岐阜の大地

りん20

チッソ 0 リン酸 20 カリ 0

※写真は「岐阜の大地」で育てた野菜です。

「岐阜の大地」は、岐阜市がお届けする安心・安全なリン酸肥料です。

内容量:20kg

特徴

- 主要成分はリン酸カルシウム。
- アルカリ性の肥料で酸性土壌の改良に効果。
- 無臭で長期にわたって使用可能。
- 粒造りで、発芽から収穫まで効果が持続。
- 雨で流出しにくいため、川や海への環境に優しい。

適用作物と効果

水耕、畑、果樹に使用できます。

- 作物の生長を早めます。
- 根の発育を促進し、発芽力を高めめます。
- 根、茎、葉の数を増やします。
- 根数、果実の品質が向上します。

施肥量の目安(kg/10a)

水耕・麦	野菜・果実	果樹類
20~30	50~120	30~50

土壌条件により増減して下さい。石灰分を含みます。

取り扱い先は、**JAぎふ各支店**

製造元 岐阜市上下水道事業部

パンフレットを作成しPR

化や将来の資源・エネルギー不足への対応が求められる今、岐阜市の取り組みは改めて高く評価されるべきと言えます。